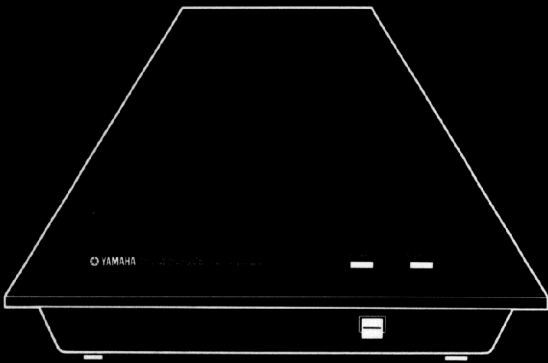


 **YAMAHA**



STEREO POWER AMPLIFIER
取扱説明書

B-6

このたびは、YAMAHAステレオパワーアンプB-6をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

B-6の優れた性能を十分に発揮させると共に、長年支障なくお使いいただくため、この取扱説明書をご使用前にぜひお読みくださいますようお願いいたします。


■目次

ご使用になる前に次のことにご注意ください……………	2
接続図……………	3
各部の名称……………	4
ブロックダイアグラム/仕様……………	5
故障と思われるときには……………	6
サービスのご依頼について……………	7

■特長

- 最新のパワーデバイスを使った全段ピュアコンプリメンタリー構成のDCアンプで、ハイスピード・低歪率の安定性が高い設計です。
- X増幅(エンベロープ切換増幅)はハイスピードコンパレータとHigh f_Tトランジスタによって、供給電源を出力レベルに応じて切り換え、小出力時におけるパワーロスを軽減しています。
- アンプの心臓部と言える電源は、新開発のフェーズアングルコントロール方式で安定化されたX電源によって200W+200Wのハイパワーを強かにサポートします。
- 放熱板を兼ねたアルミダイキャストのピラミッド型のボディは、存在を実感させる神秘的でマニアックなスタイリングです。

これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。



音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりするのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ご使用になる前に次のことにご注意ください。



設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、音質が悪化した
り故障などの原因となりますのでご注意ください。

- 窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそば
など極端に暑い場所
- 温度の特に低い場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 振動の多い場所



さかさまに置かない

本機をさかさまに置くと放熱が悪くなり、故障の原因と
なります。正常に設置してください。



水に濡れたら

万一雨が降ったり、花びんなどの水をセットにこぼし
たときは、すぐに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡
ください。また、液体の入った容器などを置かないでく
ださい。



ケースを開けない

ケースを開けて内部に手などを入れますと、故障や感電
事故を起こすことがあります。何か異物が入った時には、
すぐ電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
また、本機のすき間から硬貨・縫い針・ドライバーなど
の金属物を差し込みますと感電や故障の原因になります。



セットの通風孔をふさがない

セット後方、または底板部の通風孔をふさがないようにご
注意ください。(必ずかたい板などの上、または通気性の
良い所に設置してください。)



電源コードも大切

コードの断線やショートを防ぐため、電源プラグをコン
セントから抜く時は、コードで無く必ずプラグを持って
抜いてください。旅行などで長時間ご使用にならない時
は、電源コードのプラグをコンセントからはずしてくだ
さい。

※本機は国内仕様です。必ずAC100Vの電源コンセント
にプラグを差し込んでお使いください。100V以外の
(例えば200V)の電源コンセントには絶対に接続しな
いでください。



落雷に注意!!

落雷のおそれのある時は早めにコンセントから電源ブラ
グを抜きとってください。



セットの移動

セットを移動する場合には、接続コードのショートや断
線を防ぐためにも必ず電源プラグを抜き、他機器との接
続コードを取りはずしてから移動してください。



レコード演奏の際

カートリッジを上げ下げする際には、必ずコントロール
アンプのVOLUMEを絞ってください。
不用意なショックノイズによって、スピーカーを破損す
ることがあります。



入力用接続コードを抜き差しする場合

必ず電源を切ってからおこなってください。入力用接続
コードを抜き差しする時は、コントロールアンプの
VOLUMEツマミを時計方向一杯に回してある場合、シ
ョックノイズによって大きな音が出たり、スピーカーを
破壊することがありますので、必ず電源スイッチをOFF、
またはスピーカースイッチをOFFにしてからおこなっ
てください。



セットのお手入れには

セットをベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近く
でエアゾールタイプの殺虫剤を散布したりすることは避
けてください。
お手入れには、必ず柔らかい布で乾拭きするようにして
ください。
放熱フィンのお手入れは毛足の長いブラシなどを使うと
便利です。



保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手
続きをおこなってください。
保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも万一
サービスの必要がある場合に実費をいただくことになり
ますので、充分ご注意くださいようお願いいたします。



もう一度調べてください

故障かな?と思ったら、まず6ページの「故障と思われ
るときには」をご覧ください。意外なところで操作を誤
っていることがあります。

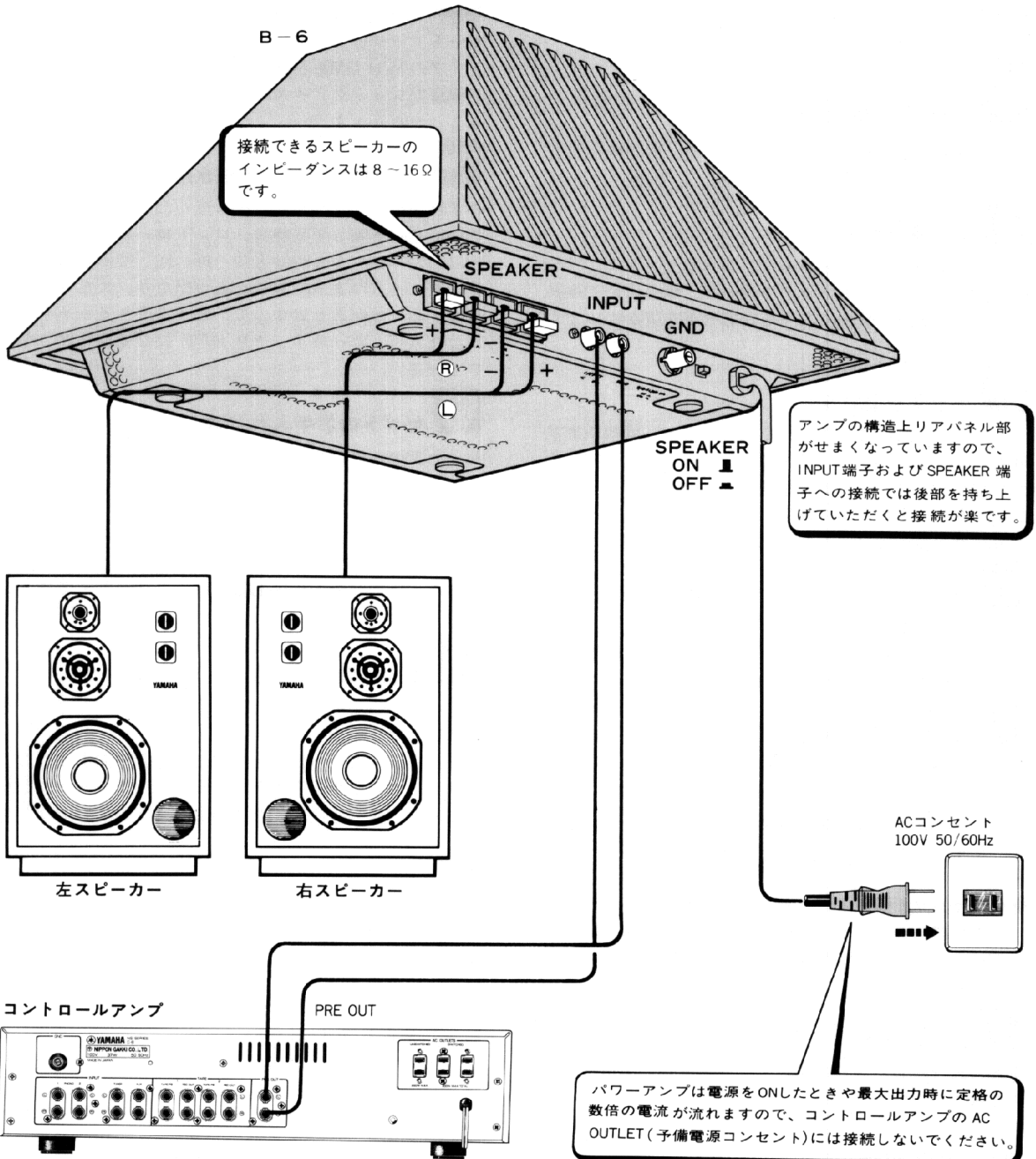


保管してください

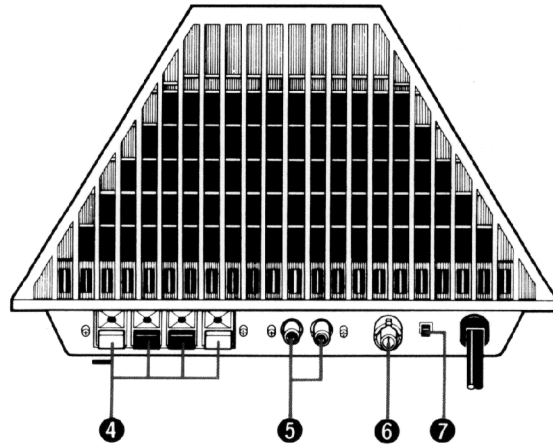
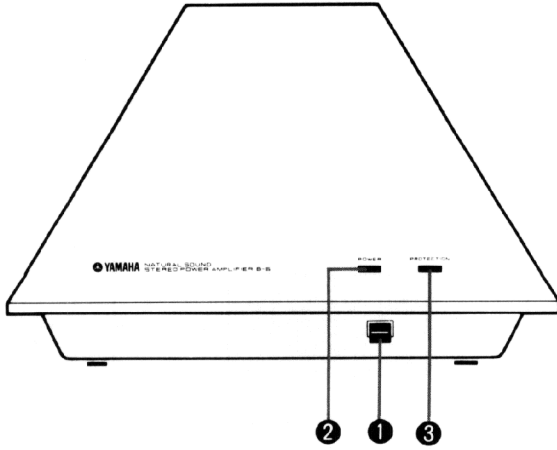
この取扱説明書をお読みになった後も、保証書とともに
大切に保管してください。

接続図

本機のキャビネットは放熱板を兼用しているため、ハイパワーで長時間ご使用になりますと相当高温になります。放熱には充分ご注意くださいととも、お子様の手の届かない所へ設置するなどのご配慮をお願いします。



各部の名称



① 電源スイッチ

このボタンを押すと(■)電源が入ります。もう一度押すと(■)電源が切れます。

※ボタンを押し、電源が入っても数秒間は、電源を入れたときのポップノイズを取り除くためのプロテクション回路が働きますので音は出ません。

※電源を入れるときは、必ずコントロールアンプのVOLUME ツマミを最小の位置(反時計方向一杯)にまわして、スピーカーから不用意に大きな音が出ないように、ご注意ください。

② POWERインジケータ

電源スイッチを押すと、このインジケータが点灯し本機が動作していることを示します。

③ PROTECTIONインジケータ

電源スイッチON後数秒間と、何らかの原因でプロテクション回路が保護動作をすると音が止まり、このインジケータが点灯します。

④ SPEAKER(スピーカー端子)

スピーカーコードをこの端子に接続します。

白色の端子が⊕ホット側、黒色の端子が⊖コールド側です。

⑤ INPUT(入力端子)

コントロールアンプの出力を接続します。

本機はDCアンプですので、出力に直流の重畳しないものや直流漏れのないコントロールアンプをご使用ください。

⑥ GND(アース端子)

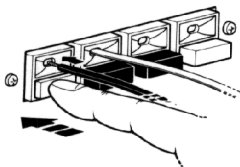
本機のグラウンドアース端子です。

ハムや雑音が出る場合には、この端子をアースするか、コントロールアンプのGND端子と接続してみてください。

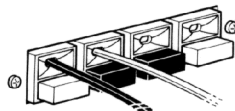
⑦ SPEAKER(スピーカースイッチ)

接続されたスピーカーシステムを動作させるスイッチです。スイッチを押すと(■)スピーカー回路がOFFとなり、もう一度押すと(■)ONとなります。電源を入れたときなど、ミュート回路が働いている場合はSPEAKERスイッチをON/OFFしても音は出ません。

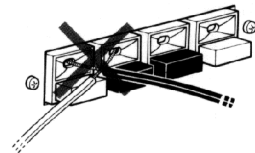
1. ボタンを押しながらコードを差し込む。



2. ボタンを離し、コードが抜けないことを確認する。

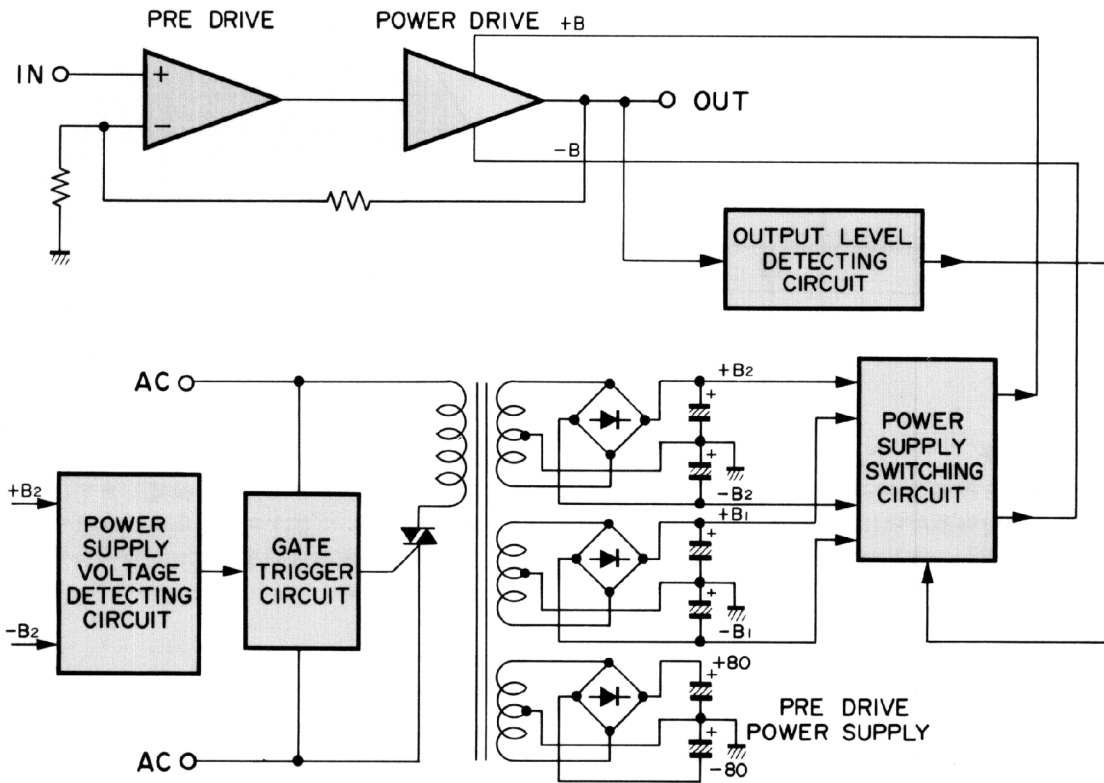


※スピーカー端子の⊕、⊖は絶対にショートさせないでください。



ブロックダイアグラム / 仕様

■ ブロックダイアグラム



■ 仕様

最大出力	(8Ω、20Hz～20kHz、T.H.D. 0.003%)…200W+200W
パワーバンド幅	(8Ω、T.H.D. 0.02%、100W+100W) …10Hz～100kHz
入力感度/インピーダンス	(8Ω、200W、1kHz) ……1.41V/25kΩ
ダンピングファクター	(8Ω、1kHz) ……200以上
周波数特性	(8Ω) ……DC～100kHz ±0.5dB
高調波歪率(T.H.D.)	(8Ω、100W、20Hz～20kHz) ……0.003%以下
混変調歪率(I.M.D.)	(8Ω、100W、50Hz+7kHz) ……0.003%以下

SN比	(入カショート、IHF.Aネットワーク、RL=8Ω)127dB以上
セパレーション(片チャンネルショート時)	
20Hz ……	95dB以上
1kHz ……	95dB以上
20kHz ……	75dB以上
定格電源電圧 ……	AC 100V
定格電源周波数 ……	50/60Hz
消費電力 ……	180W
外形寸法(W×H×D) ……	290×176.5×290mm
重量 ……	9.0kg
※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。	

故障と思われるときには

症 状	原 因	処 置
電源スイッチをONにしても電源が入らない。	電源コードのプラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていない。	電源プラグを電源コンセントにしっかり差し込みなおしてください。
	電源プラグを電源コンセントに差し込んでもONしない。	日本楽器ステレオサービス係に相談してください。
左右スピーカーあるいは左右いずれかのスピーカーから音が出ない。	コントロールアンプとパワーアンプまたはパワーアンプとスピーカーの接続が不完全。	接続、または動作を確認してください。
	スピーカースイッチがOFFになっている。	スピーカースイッチをONにしてください。
	コントロールアンプのBALANCEツマミがLかRのどちらかにずれている。	コントロールアンプのBALANCEツマミを正しく調整してください。
再生中に突然音が出なくなった。	スピーカー出力端子に直流電位が発生したため、スピーカー保護回路が動作している。 (プロテクションLEDが点灯している)	パワーアンプの電位が0Vになると、リレーが働き回路が繋がります。またはパワーアンプの電源スイッチをOFFにし、しばらくしてからONにします。
	接続されているコントロールアンプから直流電位が出ている。	本機はDCアンプですので直流漏れのないコントロールアンプをご使用ください。
	大音量で長時間使用して温度が上昇した場合や指定外の低いインピーダンスのスピーカーを接続した場合には、内部センサーが動作して音が出なくなります。	電源スイッチを切り、しばらく放熱した後ふたたびONしてください。また、接続するスピーカーは8~16Ωのものをご使用ください。
	内部回路の異常。	日本楽器ステレオサービス係に相談してください。
低音のない不自然な再生音で、音像が定位しない。	パワーアンプとスピーカーの位相(+、-)が合っていない。	パワーアンプとスピーカーの位相(+、-)を合わせて接続しなおしてください。
プログラム再生時に“ブーン”というハム音が入る。	入力の接続コードと電源コードが近づきすぎている。	接続コードと電源コードを離してください。
	ピンプラグの接続不良。	ピンプラグをしっかりと差し込みなおしてください。
	プレーヤーのアース線を、コントロールアンプのGND端子に接続していない。	アース線を、コントロールアンプのGND端子に接続してください。
本機から“ジー”という、音が出る。	回路の構造上トランスの振動音が出る場合があります。	故障ではありません。

※上記の症状以外で異常が発生した場合は、まず本機のPOWERスイッチを切り、さらに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店または日本楽器ステレオサービス係へお知らせください。

サービスのご依頼について

●サービスのご依頼は、お買い上げ店、または日本楽器ステレオサービス係へお願い致します。

■ステレオの保証は、保証書によりご購入日から満1ヵ年です。尚、現金、ローン、月賦などによる区別は一切いたしません。

■保証期間の1ヵ年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービスネットワーク（ステレオサービス係）宛お問い合わせください。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”とお思いになる点がございましたら、まず本文中の「故障と思われるときには」（前ページ）をお読みになってください。意外と故障でない場合があるものです。（ご依頼をお受けしてお伺いしますと、故障でない場合でも点検代と出張費を頂戴させていただく場合もございますのでご注意ください。）

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、お住まい、電話番号をハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。（セットの具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならぬようなときにお客様にご迷惑をおかけしなさいません。）

■日本楽器サービス係への持ち込み修理

故障の場合、出張サービスのご依頼をなさらずに、直接ご自分でお買い上げ店、または最寄りの日本楽器ステレオサービス係へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお徳です。（右欄ステレオサービス係の所在地と電話番号をご参照ください。）

■ステレオの状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、ステレオの状態をできるだけ詳しくお知らせください。またセットの品名、製造番号などもあわせてお知らせください。（あらかじめ補修部品などを手配し、早く、確実にサービスにお伺いできます。）

※品名、製造番号は底板に表示してあります。

■サービスのお約束

昼間ご不在のお客様や留守がちのお客様は、できるだけお伺いする日時を事前にお約束させて頂きたく存じます。万一、お約束した日時にご都合が悪い時には、できるだけ早くご連絡くださるようお願い致します。（出張料の二重負担が防止でき、お徳です。）

サービスのお問い合わせは

■サービスネットワーク(ステレオサービス係)

北海道事業所・〒064	札幌市中央区南十条西1丁目 (ヤマハセンター内) TEL (011)512-6111
仙台事業所・〒980	仙台市一番町2丁目6-5 TEL (0222)23-3101
東京事業所・〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4 (龍名館ビル4F) TEL (03)255-2241
浜松駐在・〒430	浜松市田町32 (東京海上ビル5F) TEL (0534)54-4115
名古屋事業所・〒460	名古屋市中区栄1丁目7-33 (サカエセンタービル5F) TEL (052)201-1551
北陸駐在・〒921	金沢市泉本町7-7 (ヤマハ金沢センター) TEL (0762)43-6111
大阪事業所・〒550	大阪市西区江戸堀1-9-1 (肥後橋センタービル6F) TEL (06)445-6421
四国駐在・〒760	高松市西宝町2丁目6-44 (高松センター) TEL (0878)33-2233
広島駐在・〒731-01	広島市安佐南区祇園町西原2205-3 TEL (08287)4-3787
九州事業所・〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092)472-2151

■日本楽器製造株式会社

本社・工場	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL0534(65)1111
東京支店	〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内 TEL03(572)3111
銀座店	〒104 東京都中央区銀座7-9-14 TEL03(572)3131
横浜支店	〒231 横浜市中区本町6-61-1 TEL045(212)3111
横浜店	〒220 横浜西区南幸2-15-13 TEL045(311)1201
千葉支店	〒280 千葉県千葉港2-1/千葉中央コミュニティセンター内 TEL0472(47)6611
関東支店	〒370 高崎市歌川町8番地/高崎センター内 TEL0273(27)3366
大阪支店	〒564 吹田市新芦屋下1-16 TEL06(877)5151
心斎橋店	〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39 TEL06(211)8331
神戸支店	〒651 神戸市灘合区浜辺通り6丁目1の36 TEL078(232)1111
神戸店	〒650 神戸市生田区元町通2-188 TEL078(321)1191
四国支店	〒760 高松市西宝町2丁目6-44 TEL0878(33)2233
四国店	〒760 高松市丸亀町8-7 TEL0878(51)7777
名古屋支店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL052(201)5141
北陸支店	〒921 金沢市泉本町7-7 TEL0762(43)6111
九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL092(472)2151
福岡店	〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内 TEL092(721)7621
小倉店	〒802 北九州市小倉区魚町1-1-1 TEL093(531)4331
北海道支店	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目/ヤマハセンター TEL011(512)6111
仙台支店	〒983 仙台市原町南目薬師堂北2-1 TEL(0222)95-6111
仙台店	〒980 仙台市一番町2-6-5 TEL0222(27)8511
広島支店	〒730 広島市紙屋町1-1-18 TEL0822(48)4511
浜松支店	〒430 浜松市田町32 TEL0534(54)4115
浜松店	〒430 浜松市鍛冶町122 TEL0534(54)4111
海外支店	ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・シンガポール ・フィリピン